

## 大きな目標に向けて準備する

茗溪塾塾長 長谷誠基

2月に入り、東京都の中学入試、大学入試、10日からは東京都の高校入試、そして月末には公立高校と受験が続いていきます。教室にいると入試結果の連絡などがあり、落ち着かない日々が続きます。

そんな中、塾では2月に中学受験コースの新学期、3月からは高校受験コース、大学受験コースなどの新学期が始まります。

中学受験コースは四谷大塚コースの予習シリーズを使っの授業になります。カラーで見やすく、長い経験からのノウハウが詰まった教材なので、受験に向けての教材の中でもベストといえるものです。しかし、基礎から発展まですべて入っているので、1人1人発達段階の違う子供たちは、全員がすべてやり切れるとは限りません。ですから、スタート時に気を付けることは、まず教室から配布される週間予定表などを参考に、宿題や復習をやってみて、どうしてもできない場合はどこまでやるのかを決めていくことが重要です。特に始めたばかりの小4生は、学校の勉強とのギャップの大きさにかなり戸惑う場合があります。それを無理やり教え込んでやっていくのは、後々悪い影響を及ぼすことも考えられます。まずは今の段階ならどこまでやるべきかを先生に相談してみてください。次に、それをやりこなすために、どこでどういうふうにするのかを計画してみましょう。4年生の初めは可能であれば、保護者の方がそばにいてやった方が良いでしょう。また、それが難しい場合は塾の自習ルームや土曜 TC ルームなどを利用して進めることができます。5年生・6年生と学年が上になってくると、自分でできることが多くなってきますので、任せても大丈夫な部分が多くなってきます。それまでに、少しずついいので自分でできることを増やしていきましょう。

公立一貫コースは試行錯誤しながら考えたり、作文を書いたり四谷大塚コースとはまた違った内容が多くなっています。初めから何でも自分で考えて解けるわけではないので、このコースは特に復習と解き直し、書き直しが重要になります。問題を解いて先生の解説を聞いた後にもう一度自分で解いてみる。また、作文を返却してもらった後、直してあるところに注意しながらもう一度書き直してみる。これをコツコツと続けていくと必ず力がついてきます。

1年後2年後の大きな目標に向けて、何事も初めは準備が必要です。まずは1ヶ月やってみて、修正しまたやってみる。これを繰り返しながら、一番合ったやり方を見つけていきましょう。